

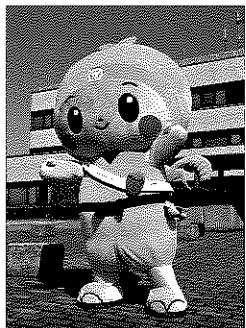
# 芳賀町

70年のあゆみ





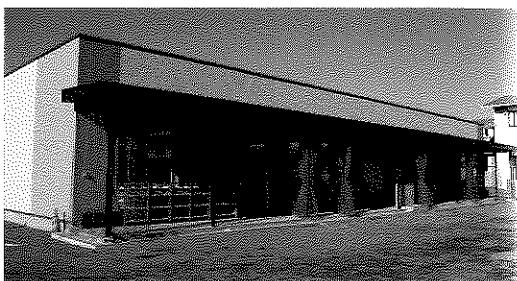
▲ 芳賀工業団地及び芳賀・高根沢工業団地（平成30年撮影）



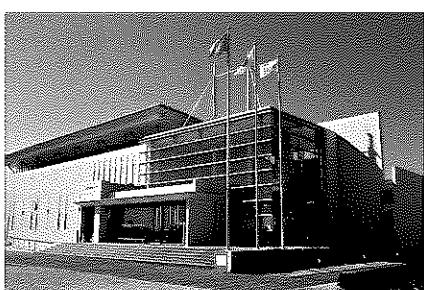
▲ 平成25年  
はがまるくん誕生



▲ 平成27年 祖母井南部



▲ 令和4年 芳賀東小学童保育施設新築



▲ 平成10年 芳賀町B&G海洋センターオープン



▲ 平成7年 芳賀温泉ロマンの湯オープン



▲ 平成23年 東日本大震災により甚大な被害を受ける

平成元年 町情報無線施設  
芳賀工業団地立地

昭和62年 芳賀町民憲章制定

昭和57年 芳賀工業団地造成に着手  
第1回町民祭開催

昭和55年 第1回梨まつり開催  
保健センター・水沼小学校新校舎完成

昭和53年 「青色申告の町」宣言

昭和54年 町農業者  
芳賀・高根沢

昭和52年 町のシンボル「花・木・鳥」  
少年自然の家完成

昭和47年 芳賀中学校実質統合（校舎・体育館・ブランコ等）  
上水道給水事業開始

昭和46年 芳賀工業団地の用地買収始まる

昭和48年 芳賀・高根沢工業団地の用地買収始まる

昭和45年 3中学校が芳賀中学校に名目統合し、3教場で授業始まる  
昭和38年 県立芳賀高等学校開校

昭和42年 第1回町文化祭開催

昭和35年 町商工会・町農業共済組合設立

昭和41年 広域行政都市清掃所が益子町に完成、し尿くみ取り処理業務開始、第1次町

昭和30年 第1回町体育祭  
町成人式  
町青年祭開催

昭和36年 町内全小学校で完全給食始まる

昭和31年 役場庁舎完成（総工費931万円）  
町章が決まる

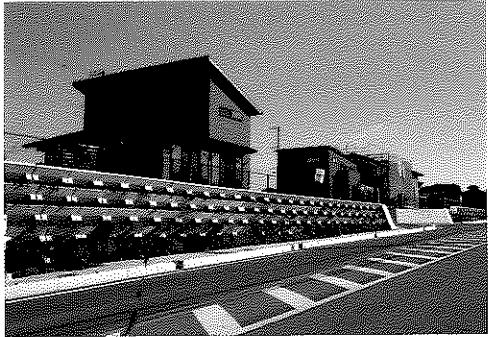
昭和29年 祖母井町・南高根沢村・水橋村が合併し、芳賀町が誕生  
(人口20,493人、昭和29年度予算6,900万円)



上地区画整理事業換地処分



▲ 令和2年 芳賀第2工業団地造成に着手



▲ 令和3年 祖陽が丘完売

平成26年



平成25年 北部第1地区土地  
芳賀町マスコット

平成23年 東日本大震災（M9.0）甚大な被害を受ける

芳賀チャンネルが開局

南高根沢ひばり保育園・みずはし保育園が私立として開園

平成21年 芳賀町B&G  
来場者100

平成19年 県立芳賀高等学校閉校

平成17年 ひばりタクシー運行開始

公共下水道供用開始

平成15年 下高根沢・芳志戸小学校を統合し、芳賀北小学校開校  
旧下高根沢小校舎を「町生涯学習センター」とする

平成18年

平成13年 芳賀北小学校新校舎完成  
町ふるさと交流体験センター（友遊はが）が完成し、  
ロマンの湯と併せて「道の駅はが」に指定される

平成16年 芳賀町・高根

平成11年 芳志戸小学校に上稻毛田小学校を編入

平成14年 初めて普通交付税の不交付団  
子ども医療費を中学生まで無

平成8年 富士山自然公園完成

平成6年 祖母井保育所を新築移転  
町営住宅完成

平成10年 祖母井・与能小学校を統合し、芳賀東小学校開校  
芳賀町B&G海洋センターオープン

整備  
地企業が操業開始

定

59年 五行川サイクリングロード完成

トレーニングセンター完成  
根沢工業団地に本田技研工業(株)がブルーピンググラウンド業務開始

鳥」、町民の歌、町民音頭制定

-ル完成)



▲ 昭和29年 芳賀町施行祝賀式典



▲ 昭和31年 役場庁舎完成



▲ 昭和41年  
共同田植え作業での  
小町飯時



▲ 昭和61年 台風1



▲ 昭和47年  
芳賀中学校統合 新しい校舎で入学式



▲ 昭和52年 「町民

長興計画策定

令和6年  
町制施行70周年



令和3年 芳賀第2工業団地予約分譲開始  
芳賀町内で県内初の鳥インフルエンザ発生  
祖陽が丘完売  
町新型コロナウイルス集団接種開始  
祖母井中央土地区画整理宅地分譲開始

令和4年 芳賀東小学校保育施設新築  
光の道民営化

令和5年 稲毛田地区土地改良事業竣工  
「梨園地」を整備  
芳賀・宇都宮LRT開業

令和2年 平成31年 祖陽が丘分譲開始  
平成30年 情報館入館者100万人達成  
平成27年 祖母井南部土地区画整理事業換地処分  
平成24年 国道123号線水橋バイパス開通  
平成22年 「唐桶溜」が農林水産省のため池百選に認定  
平成20年 芳賀町総合情報館開館  
赤羽有紀子選手、北京オリンピックで力走

羽有紀子選手 大阪国際マラソン引退レース 第2位でゴール

羽有紀子ロード制定（記念マラソン・ウォーキング大会開催）

1回はが路ふれあいマラソン

道宇都宮茂木線全線開通

改良事業竣工

キャラクターはがまるくん誕生

海洋センター

人達成

平成30年 情報館入館者100万人達成

平成27年 祖母井南部土地区画整理事業換地処分

平成24年 国道123号線水橋バイパス開通

平成22年 「唐桶溜」が農林水産省のため池百選に認定

平成20年 芳賀町総合情報館開館

赤羽有紀子選手、北京オリンピックで力走

水橋・水沼・高橋小学校を統合し、芳賀南小学校開校

町で合併協議会発足及び廃止

となる

拡充

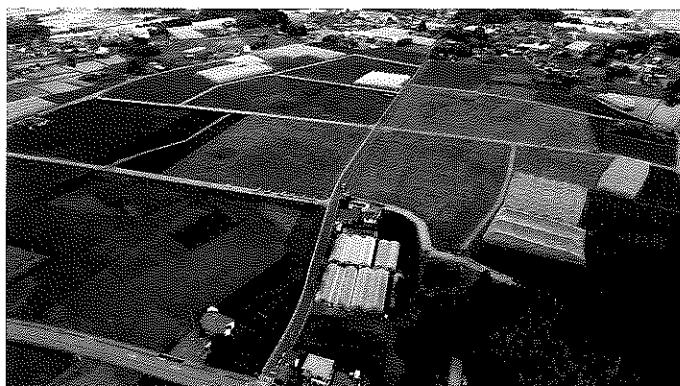
12年 芳賀東小学校に稻毛田小学校を編入  
町武道館完成



▲ 令和5年 芳賀・宇都宮LRT開業



▲ 昭和57年 第1回町民祭



▲ 令和5年 稲毛田地区「梨園地」を整備



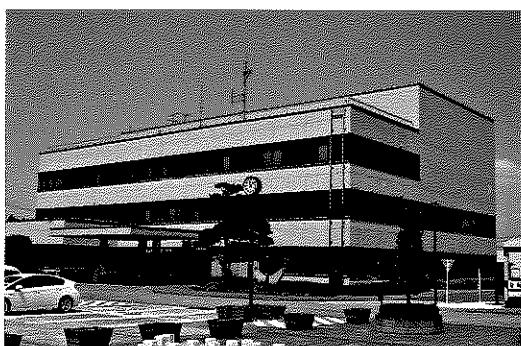
号襲来



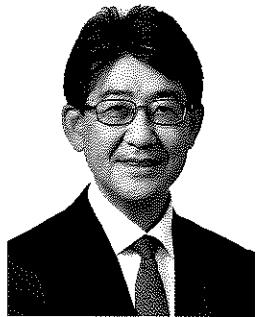
▲ 昭和57年 芳賀工業団地造成に着手



「町民音頭」製作



▲ 昭和61年 芳賀町役場新庁舎完成



# 活力ある芳賀町を未来の世代へ

町長 大関 一雄

芳賀町は、昭和29(1954)年3月31日、祖母井町、南高根沢村、水橋村の1町2村が合併し、ここに、記念すべき町制施行70周年を迎えるました。町民の皆様の英知とたゆまぬ努力によって、「希望に満ちた住みよい町」へと発展してまいりました。

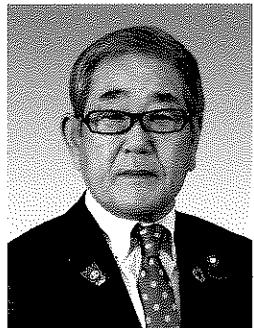
昭和29年人口は20,493人、予算は6,900万円でした。令和6(2024)年人口は、14,690人と減少しましたが、予算は総額136億5,279万円と行政規模が拡大しています。

合併当時は、純農村社会でしたが、昭和46(1971)年から芳賀工業団地、昭和48(1973)年から芳賀・高根沢工業団地の用地買収を開始、その後の造成工事を経て、平成元年には多数の優良企業が操業を開始しました。また、芳賀第2工業団地の造成とともに、昨年8月にはLRTが開業したことにより、人の往来が町に活力を与え、更に魅力のある町へと変貌を遂げつつあります。

そのような中、わが国の現状を鑑みますと、少子化に伴う高齢化と人口減少、コロナや世界情勢の不安定さから端を発した経済の停滞や物価高など多様かつ困難が山積しています。これらの課題は全て芳賀町に関連してくるものであり、まさに町の力量が試される時代に直面したと言えます。

今後、芳賀町まちづくり基本条例で謳われている「町民が自治の主体である」という意識を持ち、サービスの受け手である町民の皆様のことを第一に考え、町民の皆様が本当に望まれるサービスを提供してまいります。そして、「住みやすいまち」「活気あふれるまち」「持続できるまち」の3つを将来像に掲げ、誰ひとり取り残さない社会を実現し、活力ある芳賀町を未来の世代へ引き継いでまいります。

町民・企業・町が手を携え、各々が持っているものを活かし、子どもから高齢者まで安心して快適に暮らすことができ多様な幸せを実現できるまち「スーパースマートタウン」を進めて行くため、70年の町の歩みを振り返り、現状の課題を検証し、次世代に引き継ぐための町制施行70周年記念事業を行います。町民の皆様のご協力とご指導をお願い申し上げます。



## 町制施行70周年に寄せて

議長 小林 信二

昭和29(1954)年3月31日、祖母井町、南高根沢村、水橋村の1町2村が廃置分合して芳賀町が誕生して以来70周年を迎えるにあたり、町議会を代表してご挨拶申し上げます。

一個人として当時を顧みますと、私は5歳で家には農耕用の牛と馬がありまして農作業の繁忙期には、力一杯働いてくれて家族とともに生活していたことを僅かに憶えています。

時代は昭和・平成・令和と年号が変わり、各時代の科学技術の革新により経済が発展し、今日の生活環境が生まれてきました。さらに現在は、人工知能や検索機能、ソーシャルメディアなどの情報技術の進展によりスマートフォンなどの情報端末をいつでも利用する事が可能となっています。このような時代が来るとは想像できませんでした。

町においては、平成5年(1993)年の町制施行40周年を迎える頃に始まった構想から30年の月日を経て、昨年の令和5(2023)年8月26日に一大事業の芳賀・宇都宮LRTが開業しました。私は、平成30(2018)年5月に行われたLRTの起工式に参加した際に将来への展望を祈願したことを思い出しました。

LRTは、高度な技術を備えて開業しただけでなく、県都宇都宮の県央部と東部地域の未来の発展に向け力強く、町を牽引してくれています。さらには、「2025年問題」である団塊の世代が後期高齢者となることで労働力不足や医療人材不足など、これから時代のダイバーシティ(多様性)を解決するための方向性と可能性をそのレールの上に示してくれています。このLRTは先人達が繁栄を信じて築いた芳賀町を次の世代に託し、更なる町勢発展に結びつけるべく近隣市町との友好関係も保ちながら、町全体の安定的成長を担って行ってくれることでしょう。

町議会といたしましても、多種多様な魅力にあふれるまちづくりの実現を目指し、行政と町民の皆様との共働を一層深める努力をしてまいる所存ですので、今後も皆様からの一層のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

ここに、町制施行70周年を皆様とともに慶賀慶祝し、芳賀町の新たな飛躍と発展、町民の皆様のご多幸をご祈念しまして、ご挨拶といたします。

# 芳賀町民憲章

芳賀町は、豊かな自然と、古い歴史に支えられて発展してきた町です。私たちは、この郷土に誇りを持ち、希望に満ちた住みよい町づくりをめざして、この町民憲章を定めます。

一、思いやりと感謝の心を大切にし、互いに助け合いましょう

一、スポーツに親しみ、健康で明るい家庭をつくりましょう

一、仕事に励み、生産を高め、活力ある町をつくりましょう

一、教育を重んじ、教養を深め、文化のかおり高い町をつくりましょう

一、恵まれた自然を愛し、美しい環境を守り育てましよう

昭和六十一年十二月二十一日制定

## 芳賀町民の歌

塩田 勉／作詞  
森 菊藏／補作詞  
泊林 正一／作・編曲

- |  |  |
|--|--|
| 1 五行川 清くせせらぎ<br>花は咲き 梨は香に満つ<br>見はるかす 田の面豊かに<br>ああ芳賀町 ふるさと芳賀町<br>ひら 展けゆく ふるさと | 3 躍進の 意気はあふれて<br>大空に 韶く槌音<br>夢多き 明日を築くは<br>ああ芳賀町 ふるさと芳賀町<br>伸びてゆく ふるさと |
| 2 緑なす 丘は連なり<br>遠き世の 墳は草むす<br>先人の 訓え脈うち<br>ああ芳賀町 ふるさと芳賀町<br>栄えゆく ふるさと         |  |



芳賀町マスコットキャラクター  
はがまるくん